

# 令和6年度 第2回 千葉県有機農業研修会

千葉県では、令和2年4月に策定された国の「有機農業の推進に関する基本的な方針」に基づき、令和3年1月に「第3次千葉県有機農業推進計画」を策定し、有機農業を推進しています。

本研修会では、有機農業に取り組む農業者や、これから有機農業を始めようと考えている方などを対象に、有機農業の栽培技術や有機JAS制度等について学んでいただきます。

**参加費無料**

日時

令和7年1月17日(金)

午後1時15分～午後4時15分(受付開始:12時45分)

会場

千葉県農林総合研究センター2階大会議室

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180-1(TEL: 043-291-0151)

申込方法

事前申込み(詳細は裏面を御覧ください)

※事例発表への事前質問を受け付けます!

## <プログラム>

講演

いすみ市の有機稲作の取組のあゆみ

講師: いすみ市農林課 有機農業推進班 班長 鮫田 晋 氏

講演

有機稲作ほ場におけるほ場水管理システムを活用した栽培技術の実証

講師: 夷隅農業事務所改良普及課 普及指導員 鈴木 聡史

講演

有機JAS制度の概要について

講師: 千葉県農林水産部環境農業推進課 みどり・耕畜連携推進室

事例発表

有機稲作の経営事例及び私の有機JAS認証取得の実践例

講師: SOLFARM 佐藤 真吾 氏

進行: 環境農業推進課 みどり・耕畜連携推進室

情報提供

有機農業関連事業について

説明: 千葉県農林水産部環境農業推進課 みどり・耕畜連携推進室

# 講師プロフィール

## いすみ市農林課

### 有機農業推進班 班長 鮫田 晋 氏



兵庫県豊岡市の「コウノトリと共生するまちづくり」の事例を参考として、2012年に「自然と共生する里づくり連絡協議会」を設立。2013年から、事業担当となった。当時、有機栽培米の生産者はゼロであったが、有機栽培米の専門家を招き、講習会を開催する等、市内生産者を取りまとめ、有機稲作の拡大に尽力。「市内の小中学校の給食で有機米を届けたい」という生産者の思いから、2015年から有機米の供給を開始し、2018年には全量を有機米で供給する等、供給体制の構築に貢献。

### SOLFARM 佐藤 真吾 氏



匠瑛市内において水稻約10.5haを有機栽培(有機JAS認証取得)。就農前から有機栽培に興味があり、長野県の公益財団法人自然農法国際研究開発センターで1年間研修を受講し、20歳で就農。「環境にやさしい農業」推進事業(県単)を活用して、水稻乗用型除草機を導入する等して、規模拡大を図り、現在に至る。有機米の販路として、学校給食へ試験的な供給や東京都内等の域外流通等、開拓している。

有機JAS認証取得の実践例について、下記のお申込み方法にて、事前質問を受け付けます。認証取得に当たって「聞きたいこと」、「気になること」などにお答えします！

## 会場アクセス

(会場)千葉県農林総合研究センター2階 大会議室

○住所: 千葉市緑区大金沢町180-1

○TEL: 043-291-0151

### 【公共交通機関(バス)】

JR鎌取駅(南口1番バス乗り場)

「ちはら台駅」、「ちはら台東」行きバス約10分

→「農業センター入口」下車 徒歩5分

### 【お車で来られる方】

駐車場①または駐車場②を御利用ください。



駐車場に限りがありますので、出来るだけ公共交通機関で御来場をお願いいたします。

次のいずれかの方法でお申込みください。

⇒申込期限 令和6年12月24日(火)まで

### ①ちば電子申請システム

・次のURLアドレスから入力フォームにてお申込みください。

(事前質問の受付欄あり)

[https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=37597](https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=37597)

### ②FAX(043-201-2623)

・別紙参加申込書、事前質問用紙に記載の上、お申込みください。

(事務局)千葉県農林水産部 環境農業推進課 みどり・耕畜連携推進室宛て

TEL 043-223-2773、FAX 043-201-2623

E-Mail [chibaeco@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:chibaeco@mz.pref.chiba.lg.jp)



お申込先  
お問合せ先